

紀の川市で学習と収穫体験してきました!

昨年は、区内の組合員さんに呼びかけて、トウモロコシ収穫体験を企画しましたが、今年は万博開催の関係でバス手配が困難のため、委員のみで学習と収穫体験をしてきました。その報告ニュースです。

今回は皆さんと一緒できますように(*^_^*)



紀ノ川農協 宇田組合長



一株トマトでお馴染みの**紀ノ川農協**の宇田組合長から、農業の担い手減少による耕作放棄地の増加や空き家問題といった、市が直面する地域課題の解決に向けて、それぞれの強みを生かし異なる業種が連携し取り組む事例を聞きました。

地域に関わる人を増やして、みんなで力合わせて地域を守り生活していくことができるようにするために、....

- ① 耕作放棄地を体験観光農園事業として再生させ、体験農園地を作る → **地域を知ってもらう**
- ② 空き家をリノベーションして短・中期滞在できる宿泊施設を整備する → **地域に滞在してもらう**
- ③ それらの事業を通して、新たな地域人材を創出する仕組みを作っていく → **新たな担い手、役割発掘**

の活動に取り組んでおられるとのことでした。

参加者の感想

(収穫体験の感想)

- ・今年は梅雨がない状態で早い段階で害虫が発生し収穫前の農薬散布もできなかったそうです。外の皮が柔らかい状態で害虫の侵入があり、お手上げとの事。
- ・農薬、あまり使われていないから虫食いが多いいんやなと思いました。
- ・気候変動が作物を栽培するのに大変な影響を及ぼして、農家さんのご苦労は大変かと思います。
- ・とうもろこし畑の管理は、地域おこし協力隊の方がしているそうです。3名のスタッフさんはじめ、土地所有者の方も草刈り等できることは協力してくださいそう。

(学習会の感想)

- ・**紀の川流域カンパニー**と言う組織を立ち上げ、若者に移住してもらう体験などの取り組みをされてたり今地域に住んでおられるお年寄りや障害のある方も少しでもできることで関わってもらってみんなで共存して行く町を作っていく取り組みは大切な事だと思いました。
- ・消費者も生産コストを理解して購入しなければいけないと改めて思いました。
- ・これからの農業は所得補償と価格保障のバランスが大切な事を改めて感じました。自国の食料は自国で賄えるよう生産者をしっかり支えるしくみが必要!



今年のトウモロコシの状況や収穫の仕方を教えていただきました。



この先も
国産のもの食べ
続けたいな!!



紀ノ川農業協同組合



紀の川流域カンパニー(株)

問い合わせ先 組合員サービスセンター

フリーコール 0120-299-070

FAX 0120-299-230

携帯からは072-856-7671 (有料)

(月・土9時～17時 火～金9時～18時)

※受付させていただいた個人情報に関しては、このとりくみ以外に使用いたしません。

